



令和4年度

特別養護老人ホーム 待機・入所状況調査報告書

2022年11月

静岡県老人福祉施設協議会
特養委員会

2022年度 特別養護老人ホームの待機・入所状況調査

1. 調査目的

毎年実施している特別養護老人ホームへの待機状況調査について、行政等との話し合いなど今後の対応の資料とするため、待機者の状況に加え、入所者の状況や特例入所の状況について調査を行う。

2. 調査概要

①方法

静岡県老人福祉施設協議会事務局より、会員施設である全ての特別養護老人ホームに調査票をFAXで依頼し、回答いただいた。

②調査期間

2022年7月1日から2022年7月29日

③調査担当

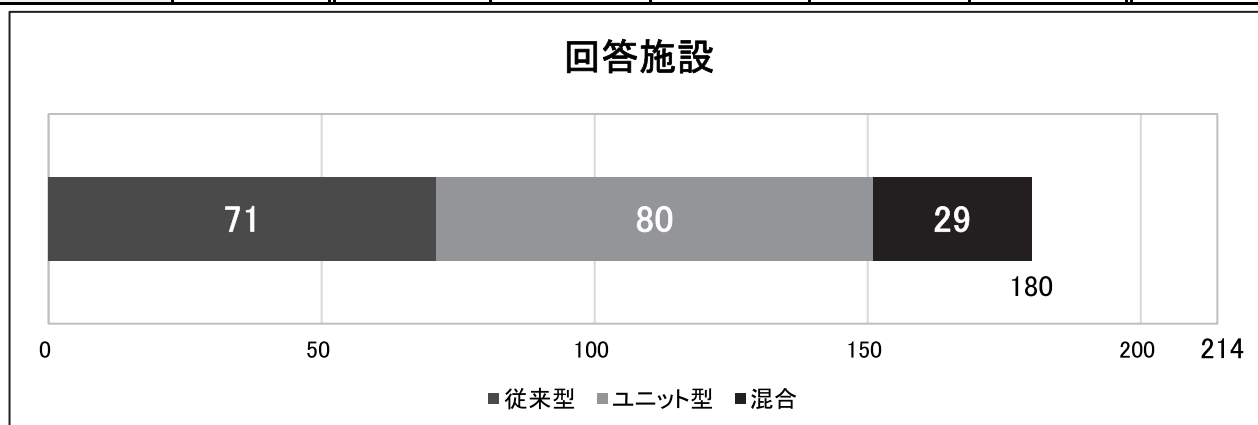
静岡県老人福祉施設協議会 特養委員会

3. 回答状況

- ・対象施設:214施設(特養:198施設 / 地域密着型特養:16施設)
- ・回答施設:180施設
- ・回 答 率 :84.1%

<内訳> (表①)

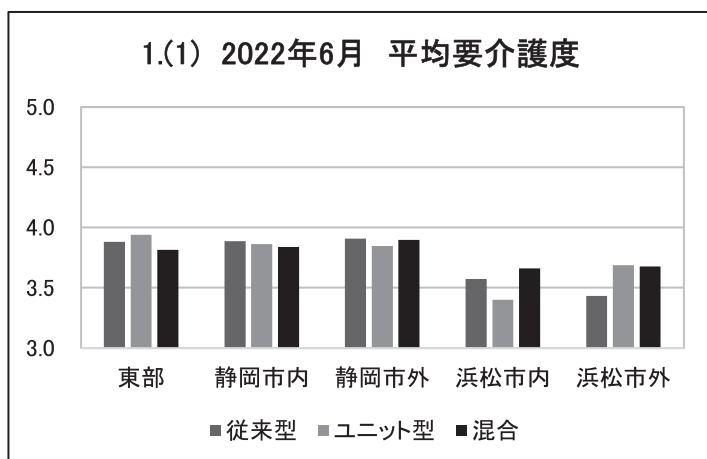
	全体	東部	中部		西部		2021年度 全体
			静岡市内	静岡市外	浜松市内	浜松市外	
回答施設数	180	66	24	23	37	30	184
従来型	71	30	8	10	12	11	79
ユニット型	80	28	11	8	20	13	77
混合	29	8	5	5	5	6	28
未記入	0	0	0	0	0	0	1



1. 施設の概要について

(1) 2022年6月時点の入所者の平均要介護度

	全体	東部	中部		西部		2021年度 全体
			静岡市内	静岡市外	浜松市内	浜松市外	
全体	3.8	3.9	3.9	3.9	3.5	3.6	3.8
従来型	3.8	3.9	3.9	3.9	3.6	3.4	3.8
ユニット型	3.7	3.9	3.9	3.8	3.4	3.7	3.7
混合	3.8	3.8	3.8	3.9	3.7	3.7	3.8

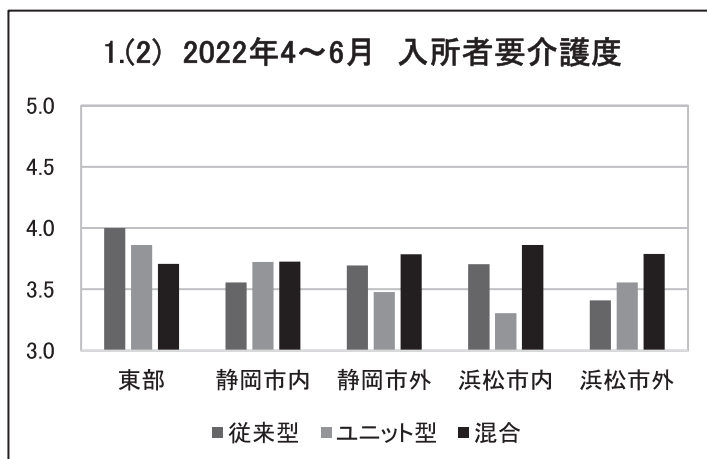


2022年6月時点の平均要介護度は全体で3.8。前年度と比較しても大きな変化は見られない。

地区別では、西部 浜松市内が、全ての施設種別において全体平均を下回っている。また、西部 浜松市外も全体平均が3.6と低値。特に従来型が3.4と全体で最低値となっている。

(2) 直近3か月間(2022年4月～6月の期間)に入所された新規入所者の平均要介護度

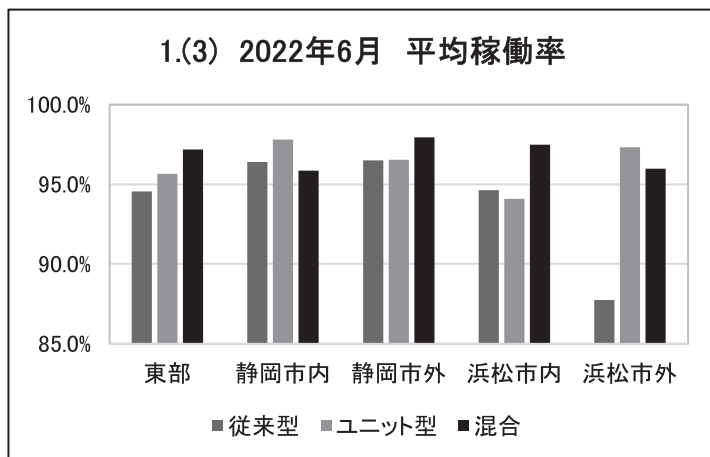
	全体	東部	中部		西部		2021年度 全体
			静岡市内	静岡市外	浜松市内	浜松市外	
全体	3.7	3.9	3.7	3.6	3.5	3.5	3.7
従来型	3.8	4.0	3.6	3.7	3.7	3.4	3.7
ユニット型	3.6	3.9	3.7	3.5	3.3	3.6	3.6
混合	3.8	3.7	3.7	3.8	3.9	3.8	3.7



2022年4月から6月の期間に入所された新規入所者の平均介護度は、全体では、前年度と比較し大きな変化は見られない。

(3)2022年6月時点の平均稼働率

	全体	東部	中部		西部		2020年度 全体
			静岡市内	静岡市外	浜松市内	浜松市外	
全体	95.3%	95.3%	96.9%	96.8%	94.7%	93.5%	97.1%
従来型	94.0%	94.6%	96.4%	96.5%	94.6%	87.7%	96.5%
ユニット型	95.9%	95.7%	97.8%	96.5%	94.1%	97.3%	96.4%
混合	96.9%	97.2%	95.8%	97.9%	97.5%	96.0%	97.4%



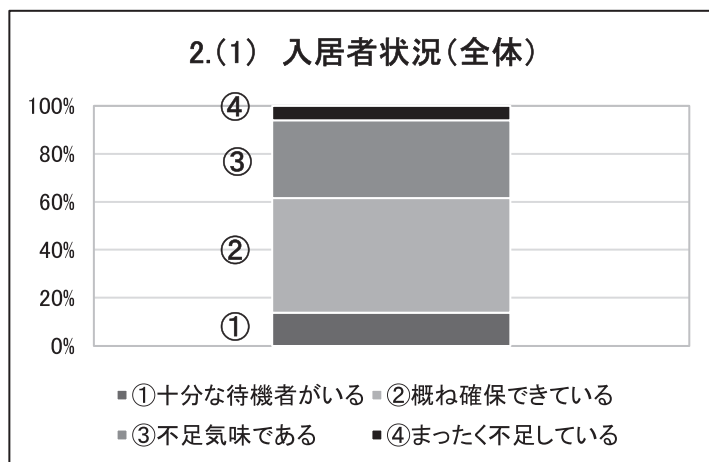
前年度よりも全体的に平均稼働率は下降している。

浜松市外の従来型は90%を下回る稼働となっている。全体平均も93.5%と最低値となっている。

2. 昨年度1年間の入所者状況について

(1) 全体のまとめ

回答項目	2022年度		2021年度	
	施設数	比率	施設数	比率
①空き定員を満たすのに <u>十分な待機者がいる</u>	25	14%	33	18%
②空き定員を満たすだけの待機者は、 <u>概ね確保できている</u>	87	48%	91	51%
③空き定員に対して、待機者の数は <u>不足気味である</u>	59	32%	50	28%
④空き定員に対して、待機者の数は <u>まったく不足している</u>	11	6%	9	5%
合 計	182		179	



前年度と比較して、「①十分な待機者がいる」、「②概ね確保できている」がともに下降し、「③不足気味である」、「④まったく不足している」が上昇している。

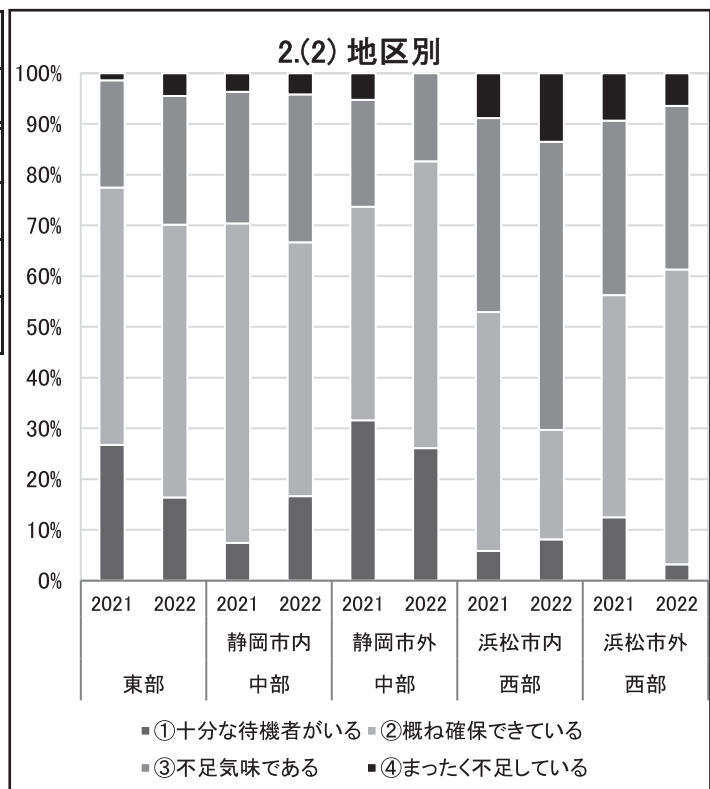
前年度よりもさらに待機者の確保が困難になってきている状況がうかがえる。

(2) 地区別の内訳

回答項目	東部	中部		西部	
		静岡市内	静岡市外	浜松市内	浜松市外
①十分	11	4	6	3	1
②概ね確保	36	12	13	8	18
③不足気味	17	7	4	21	10
④まったく不足	3	1	0	5	2

前年度と比較すると全般的に「①十分な待機者がいる」、「②概ね確保できている」の割合が低下している。

中でも西部 浜松市内の変化が激しく、「③不足気味である」、「④まったく不足している」が昨年度の約45%から約70%となっており、待機者確保の困難さに拍車がかかっていることがうかがえる。



(3)地区別・施設種別の内訳

※各項目の割合は、(表①)の各項目に対する割合を表記している。

①空き定員を満たすのに十分な待機者がいると回答された施設

	全体		東部		中部				西部				2021年度 全体	
					静岡市内		静岡市外		浜松市内		浜松市外			
全体	25	14%	11	17%	4	17%	6	26%	3	8%	1	3%	33	18%
従来型	17	24%	9	30%	3	38%	4	40%	1	8%	0	0%	17	22%
ユニット型	4	5%	2	7%	1	9%	0	0%	1	5%	0	0%	9	12%
混合	4	14%	0	0%	0	0%	2	40%	1	20%	1	17%	7	25%

②空き定員を満たすだけの待機者は、概ね確保できていると回答された施設

	全体		東部		中部				西部				2021年度 全体	
					静岡市内		静岡市外		浜松市内		浜松市外			
全体	87	48%	36	55%	12	50%	12	52%	8	22%	18	60%	91	49%
従来型	39	55%	20	67%	4	50%	5	50%	4	33%	6	55%	38	48%
ユニット型	33	41%	11	39%	5	45%	5	63%	2	10%	10	77%	38	49%
混合	15	52%	5	63%	3	60%	3	60%	2	40%	2	33%	15	54%

③空き定員に対して、待機者の数は不足気味であると回答された施設

	全体		東部		中部				西部				2021年度 全体	
					静岡市内		静岡市外		浜松市内		浜松市外			
全体	59	33%	17	26%	7	29%	4	17%	21	57%	10	33%	50	27%
従来型	16	23%	2	7%	1	13%	1	10%	7	58%	5	45%	20	25%
ユニット型	35	44%	13	46%	4	36%	3	38%	12	60%	3	23%	24	31%
混合	8	28%	2	25%	2	40%	0	0%	2	40%	2	33%	6	21%

④空き定員に対して、待機者の数はまったく不足していると回答された施設

	全体		東部		中部				西部				2021年度 全体	
					静岡市内		静岡市外		浜松市内		浜松市外			
全体	11	6%	3	5%	1	4%	0	0%	5	14%	2	7%	9	5%
従来型	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	9%	3	4%
ユニット型	8	10%	2	7%	1	9%	0	0%	5	25%	0	0%	6	8%
混合	2	7%	1	13%	0	0%	0	0%	0	0%	1	17%	0	0%

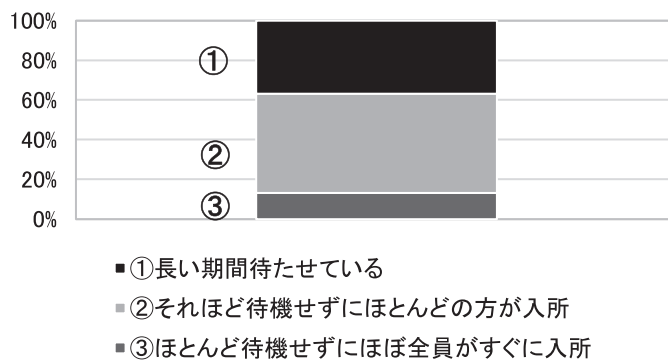
3. 昨年度1年間の待機者状況について

入所希望者の内、「すぐにでも入所したい」又は「6か月以内には入所したい」方に対する待機状況について

(1) 全体のまとめ

回答項目	2022年度		2021年度	
	施設数	比率	施設数	比率
①入所希望者を長い期間待たせている状態である。	65	36%	82	44%
②入所希望者はそれほど待機せずにほとんどの方が入所できている。	88	49%	84	45%
③入所希望者はほとんど待機せずにほぼ全員がすぐに入所できている。	23	13%	19	10%
合 計	176		185	

3.(1) 待機状況(全体)



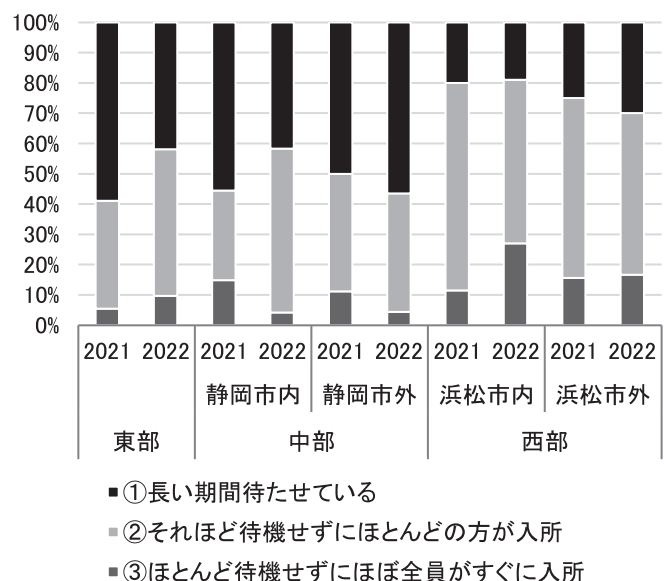
前年度と比較すると、「①長い期間待たせている」の割合が低下し、「③ほとんど待機せずにほぼ全員がすぐに入所」が増加している。

(2) 地区別の内訳

回答項目	東部	中部		西部	
		静岡市内	静岡市外	浜松市内	浜松市外
①長い期間	26	10	13	7	9
②それほど	30	13	9	20	16
③ほとんど	6	1	1	10	5

前年度と比較すると、「①長い期間待たせている」の割合が、東部、中部 静岡市内、西部 浜松市内で減少している。また、「③ほとんど待機せずにほぼ全員がすぐに入所」の割合は、東部、西部 浜松市内、西部 浜松市外で増加している。

3.(2) 地区別



(3)「①入所希望者を長い期間待たせている状態である。」と回答された地域・施設種別の内訳

※各項目の割合は、表①の各項目に対する割合を表記している。

①施設数と比率

	全体		東部		中部				西部				2021年度 全体	
					静岡市内		静岡市外		浜松市内		浜松市外			
全体	65	36%	26	39%	10	42%	13	57%	7	19%	9	30%	82	45%
従来型	32	45%	13	43%	5	63%	6	60%	4	33%	4	36%	38	49%
ユニット型	18	23%	7	25%	4	36%	3	38%	2	10%	2	15%	26	38%
混合	15	52%	6	75%	1	20%	4	80%	1	20%	3	50%	18	54%

②最も長い待機期間と長い待機期間の平均

	全体		東部		中部				西部				2021年度 全体	
					静岡市内		静岡市外		浜松市内		浜松市外			
	最長	平均	最長	平均	最長	平均	最長	平均	最長	平均	最長	平均		
全体	14年	3.8年	14年	3.8年	7年	3.5年	10年	3.8年	7年	4.3年	9年	3.7年	19年	4.2年
従来型	14年	3.7年	14年	4.4年	3年	1.9年	5年	3.0年	7年	4.8年	6年	3.3年	19年	4.6年
ユニット型	9年	3.4年	5年	2.3年	7年	5.0年	3年	2.3年	7年	5.0年	9年	5.0年	8年	3.0年
混合	11年	4.5年	11年	4.7年	5年	5.0年	10年	6.0年	1年	1.0年	6年	3.3年	10年	4.5年

東部、中部では待機者のおおよそ半数を「①長い期間待たせている」状況。西部は20～30%。
待機期間は各地区で大きな差異は見られない。
全体的に、従来型よりもユニット型の方が待機期間が短く入所できる状況がうかがえる。

(4)「入所希望者はそれほど待機せずにほとんどの方が入所できている」と回答された地域・施設種別の内訳

①施設数と比率

	全体		東部		中部				西部				2021年度 全体	
					静岡市内		静岡市外		浜松市内		浜松市外			
全体	88	49%	30	45%	13	54%	9	39%	20	54%	16	53%	84	45%
従来型	30	42%	13	43%	3	38%	4	40%	5	42%	5	45%	40	51%
ユニット型	45	56%	15	54%	6	55%	4	50%	12	60%	8	62%	35	45%
混合	13	45%	2	25%	4	80%	1	20%	3	60%	3	50%	9	32%

②昨年度入所された方の平均待機期間

	全体	東部	中部		西部		2021年度 全体
			静岡市内	静岡市外	浜松市内	浜松市外	
全体	8.6ヶ月	10.6ヶ月	6.9ヶ月	11.0ヶ月	6.7ヶ月	6.5ヶ月	7.9ヶ月
従来型	9.5ヶ月	10.8ヶ月	7.0ヶ月	13.5ヶ月	3.8ヶ月	9.4ヶ月	8.4ヶ月
ユニット型	8.2ヶ月	10.8ヶ月	5.8ヶ月	7.5ヶ月	7.8ヶ月	5.9ヶ月	7.2ヶ月
混合	7.3ヶ月	7.0ヶ月	8.5ヶ月	15.0ヶ月	7.3ヶ月	3.2ヶ月	7.7ヶ月

施設数と比率は、全体でユニット型が上昇している。
平均待機期間は、従来型、ユニット型が前年度より約1年間延びている。

(5)「入所希望者はほとんど待機せずにほぼ全員がすぐに入所できている」と回答された地域・施設種別の内訳

	全体		東部		中部				西部				2021年度 全体	
					静岡市内		静岡市外		浜松市内		浜松市外			
全体	23	13%	6	9%	1	4%	1	4%	10	27%	5	17%	19	10%
従来型	6	8%	1	3%	0	0%	0	0%	3	25%	2	18%	3	7%
ユニット型	16	20%	5	18%	1	9%	1	13%	6	30%	3	23%	15	16%
混合	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%	1	20%	0	0%	1	4%

施設数や施設種別は前年度と大きな変化は認められず。

4. 待機者人数(入所申込者数)の状況

1施設当たりの平均待機者数と待機者数合計

①すぐに入所をしたい

(単位:人)

		全体	東部	中部		西部	
				静岡市内	静岡市外	浜松市内	浜松市外
要介護3～5	1施設平均	30.9	28.2	47.0	49.9	15.8	28.2
	合計	5,547	1,836	1,130	1,148	586	847
要介護1・2	1施設平均	6.0	5.9	7.1	7.3	4.1	7.1
	合計	1,032	382	150	132	155	213
①合計		6,579	2,218	1,280	1,280	741	1,060

②6か月以内には入所をしたい

(単位:人)

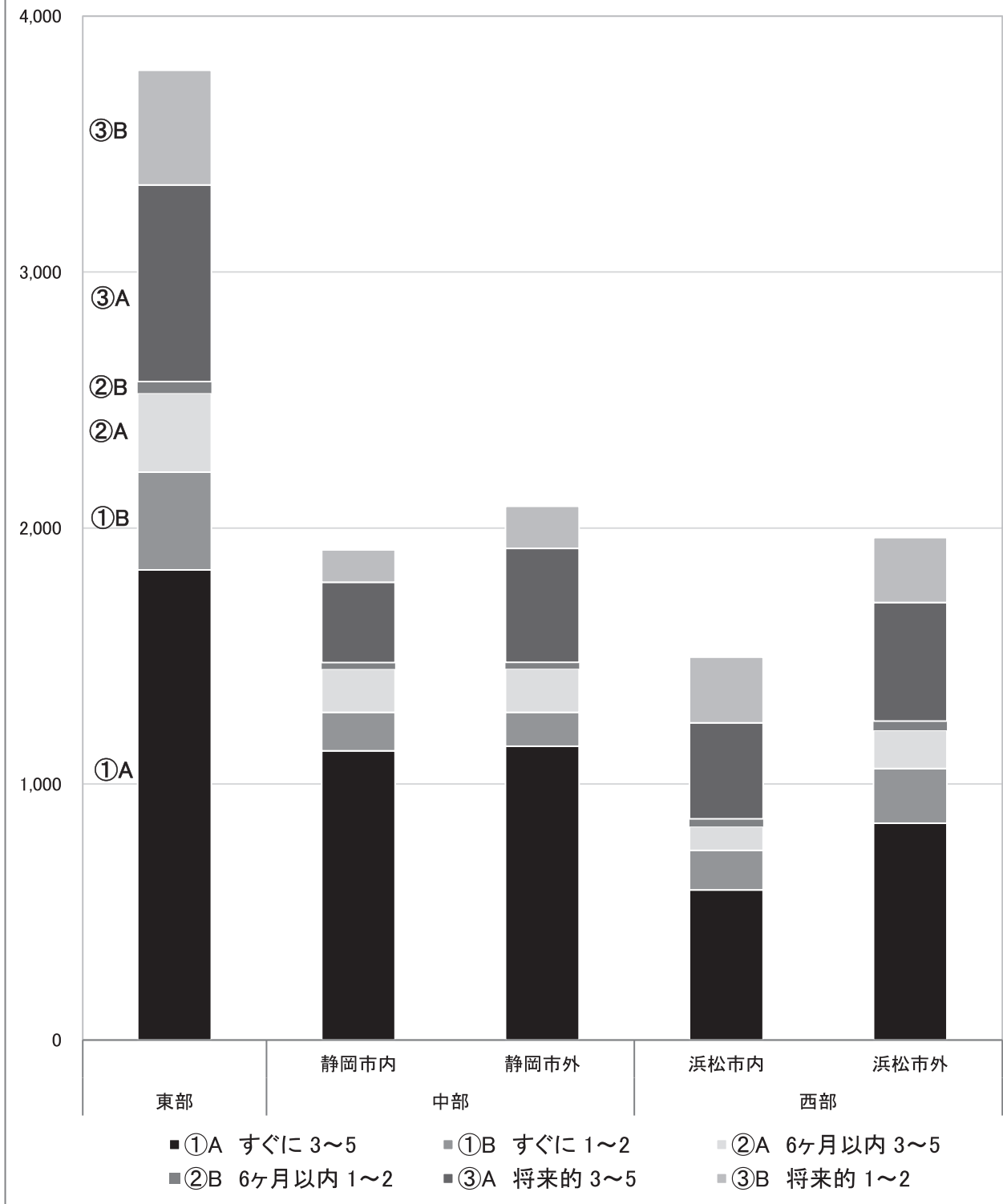
		全体	東部	中部		西部	
				静岡市内	静岡市外	浜松市内	浜松市外
要介護3～5	1施設平均	5.2	4.9	7.6	9.4	2.5	5.0
	合計	891	309	169	170	93	150
要介護1・2	1施設平均	1.0	0.7	1.5	2.6	0.8	1.2
	合計	163	45	26	26	30	36
②合計		1,054	354	195	196	123	186

③将来的には入所をしたい

(単位:人)

		全体	東部	中部		西部	
				静岡市内	静岡市外	浜松市内	浜松市外
要介護3～5	1施設平均	13.5	12.1	14.2	20.2	10.1	15.4
	合計	2,364	768	313	445	375	463
要介護1・2	1施設平均	7.2	7.1	5.5	8.2	6.9	8.4
	合計	1,250	448	127	164	257	254
③合計		3,614	1,216	440	609	632	717
①～③合計		11,247	3,788	1,915	2,085	1,496	1,963

4. 地区別 待機者数合計



待機者数は11,247人。

前年の12,072人から825人減少(2020年:12,829人⇒2021年:12,072人⇒2022年:11,247人)。

「①すぐに入所をしたい」、「②6か月以内には入所をしたい」要介護3～5の合計は6,438人。前年度の6,899人から461人減少。

「①すぐに入所をしたい」、「②6か月以内には入所をしたい」要介護1・2の合計は1,195人で、全申込者の10.6%に当たる。前年度の1,417から222人減少。

5. 特例入所の受入状況

(1) 特例入所の受け入れ実績

	全体		東部		中部				西部			
					静岡市内		静岡市外		浜松市内		浜松市外	
	施設数	比率	施設数	比率	施設数	比率	施設数	比率	施設数	比率	施設数	比率
①実績あり	75	42%	24	36%	9	38%	4	17%	22	59%	16	53%
②実績なし	105	58%	42	64%	15	63%	19	83%	15	41%	14	47%

特例入所の受け入れ実績のある施設と実績のない施設の割合はおおよそ半々。
地区別では、東部と中部で実績のある施設数が少ない反面、西部では浜松市内外を問わず、実績のある施設数が多い状況。

(2) 特例入所の理由ごとの実績内訳

特例入所の実績について、その受け入れ人数と考慮すべき事項について回答（考慮すべき事項は複数回答あり）。また、市町の担当課や地域包括支援センター、居宅介護支援事業所の要請により受け入れた人数を回答。

考慮すべき事項	2020年度		2021年度	
	人数	要請	人数	要請
①認知症である者であって、日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られること。	25	6	29	3
②知的障害・精神障害等を伴い、日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さ等が頻繁に見られること。	6	0	3	0
③家族等による深刻な虐待が疑われること等により、心身の安全・安心の確保が困難であること。	11	12	6	6
④単身世帯である、同居家族が高齢又は病弱である等により家族等による支援が期待できず、かつ、地域での介護サービスや生活支援の供給が不十分であること。	40	6	48	2
⑤居宅サービス等の利用に関する状況などから、居宅において日常生活を営むことが困難なことについてやむを得ない事由があると認められること。	41	6	56	10
①～⑤合計	123	30	142	21

2020年度と比較すると2021年度は全体（①～⑤全体）で19人増加。
2020年度同様④、⑤の割合が多い。

6. 入所・待機者に関する対応状況や意見・要望

昨年度の入所・待機者状況調査の自由記述において寄せられた意見・要望等に対する回答（複数回答あり）

項 目	施設数	比率
①（意見）待機者の確保が困難な状況である。	77	15%
②（意見）介護度に関係なく地域で支援が必要な方を援助する体制が必要である。	66	13%
③（要望）要介護認定資料等の開示請求について、各保険者の対応を統一して欲しい。	35	7%
④（要望）特例入所に関する入所申込みは、保険者が該当の可否を判断した後に行うようにして欲しい。	57	11%
⑤（要望）特例入所は、施設において判断や問い合わせに応じることが困難なため、市町村の役割対応の周知を広く図って欲しい。	42	8%
⑥（要望）特例入所について、緊急性に鑑み、該当・非該当について柔軟な判断をして欲しい。	58	12%
⑦（要望）市町村等から要請により特例入所を行った場合、日常生活継続支援加算を算定基準対象から除外して欲しい。	63	13%
⑧（要望）日常生活継続支援加算の算定基準を踏まえると、『静岡県指定介護老人福祉施設優先入所指針（別表）入所申込者評価基準』の「1 本人の状況」は要介護状態だけではなく、認知症日常生活自立度や医師の指示に基づいた喀痰吸引や経管栄養を行う必要性の有無を反映して欲しい。	37	7%
⑨（要望）『静岡県指定介護老人福祉施設優先入所指針（別表）入所申込者評価基準』の「2介護者等の状況」は介護者が要支援状態または高齢者であることの状況はあるが、就学中や就労中の若い世代（ヤングケアラー）であることによる介護の困難さも反映して欲しい。	68	14%

特別養護老人ホームの使命として、要介護度にとらわれず、地域で支援が必要な人を柔軟に受け入れていく体制が必要との意見が多い。そのためには、現状に合わせた『静岡県指定介護老人福祉施設優先入所指針（別表）入所申込者評価基準』の見直しが必要との意見も多く聞かれる。

7. その他の意見・要望

《東部》

No.	その他の意見・要望
1	名簿上、待機者が多くいるように思えるが、実際は亡くなった、他の施設に入所した等とすごいスピードで状況変化がある。しっかりと順番に対応しているが、1人に対し複数の施設から声が掛かるので、かなりの時間と労力を有し、家族も施設も苦勞すると感じる。また、有料老人ホーム等の施設もたくさんあるため、果たして優先入所は必要であろうか？と疑問である。
2	特例入所に関する手続きを簡素化してほしい。
3	とにかく特養待機者が激減している。老人保健施設に3ヶ月以上利用している利用者が多く、特別養護老人ホームの順番が回ってきても転床しない。
4	特養待機中でも状態が落ち着かずすぐに入所ができない方が多い。待機者がいてもすぐに入所ができる方が少ない。
5	待機者が以前に比べて激減している。特例入所もスムーズに使用できない状況で今後の入居者選択が不安である。
6	申込人数は少なくないが、待機者をプールできない。待機期間も短い。優先入所の間隔も短くなっている。
7	入所後に要介護度1、2になる利用者について、在宅復帰を働き掛けるが、家族が受け入れられずそのまま入所継続となるため、入所を必要とする希望者の受け入れが遅れる実態がある。入所後の要介護度1、2についても検討が必要ではないかと考える。

《中部》

No.	その他の意見・要望
1	緊急性(退院後行き場所がない)等の問い合わせが多くなってきているが、優先入所検討委員会開催予定が1ヶ月後の場合、仮で入所はできないか。
2	主治医意見書の認知症自立度の判定と、本人の現状と合っていない場合がある。
3	静岡市の「まるけあ」のように待機者数や平均介護度など、県老協でも出せる範囲で出していきたい。
4	かなり前に申し込みをした方の調査を行っていない。待機者調査を定期的に行うことは必要だと考えるがなかなか実施できず今後の課題である。
5	施設運営上、加算等で介護福祉士の手厚い配置要件が付属する。サービスの質の向上は必要だが、人材確保が困難な状況で、配置人員の維持が大変。
6	不安を感じる。無資格者でも頑張っている職員も大勢存在する中で改善の余地はないか。
7	入所要件、原則要介護度3以上を撤廃してほしい。

《西部》

No.	その他の意見・要望
1	インターネットで特養等を検索すると民間業者のサイトで〇〇ホーム 待機者30人など出てくる。確認したところ行政からの情報をもとにしているとのこと。適切な情報提供と最新の情報への更新をしていただきたい。
2	申し込みをいただいても、数か月後には他施設に入所されているケースが多い。依然として待機者確保が難しい状況。
3	市から虐待案件につきショートステイの措置を依頼され受けた(要支援1)。区分変更を行い要介護度1となったのを理由に措置解除となった。特例入所を申請すると、『措置解除となっており、今はショートステイ利用で、虐待を受ける環境にないため非該当。介護にあったサービスを行うことが望ましい。』と回答あり。市のやっていることがメチャメチャ。どこに相談すればいいのか。
4	介護認定期間が長期になり、実際の状態像と介護度や認知症日常生活自立度があっていない方がとても多い。また、要介護度4～5の待機者自体が少なくなっている中、日常生活継続支援加算の要件と現状にズレがある。
5	高齢化が急速に進み、ヤングケアラーなども問題も大きい現在、介護度に固執せず柔軟に対応できる体制を整えていくことが望ましいと考える。また、待機者が多い施設は一時的に近隣の施設に入所をすすめるなど、待機利用者も空床のある施設も満足できると思われる。
6	認知症の周辺症状等、徘徊や暴言、暴力があり、入所申し込みがあるが施設で対応できないケースが増えている。
7	高齢化が進む中、孫世代が子育てや共働きで祖父母を介護している世帯が増えている。経済的にも厳しいとの声もある。ヤングケアラーの困難さは否めない。
8	「指定介護老人福祉施設 優先入所Q&A(平成28年11月28日版)」問25より、「ひとり暮らしで介護者がいる場合とは、ひとり暮らしであるが概ね30分程度で駆けつけることができる範囲のところに介護者がいる」とあるが「静岡県指定介護老人福祉施設優先入所指針(別表)」の「入所申込者評価基準」2、介護者等の状況(1)自宅((2)以外の場所)の場合、①ひとり暮らしで介護者がいないの基準として、天涯孤独の方が該当するのか、概ね30分以上、あるいは県外であることが該当するのか？
9	特例入所の申請が複雑。もう少し柔軟に対応できるとよい。
10	ここ1～2年くらい入所申込のあった方に順番が来たことを伝えると『先送りにしてほしい。』という返答が増えてきている。地域のケアマネジャー等が申込をご家族にすすめてくれる時に『断ってもいいから。』と伝えてくれる方も多いそうで、施設としては「すぐにでも入所したい」に希望された方は順番が来たら1週間以内には入所をお願いしたいと思っているのでスムーズな入所ができるようにしたい。

以上

特別養護老人ホーム 待機・入所状況調査票

下記項目をご確認の上、ご回答願います。

基準日:2022 年 6 月 30 日

1. 施設の概要についてご記入下さい。

- ① 所在地 市・町
- ② 種 別 ☐従来型 ・ ☐ユニット型 ・☐混合
- ③ 2022 年 6 月末の平均要介護度 .
- ④ 直近 3 ヶ月間(2022.4～6)の新規入所者の平均要介護度 .
- ⑤ 直近 3 ヶ月間(2022.4～6)の平均稼働率 %

※平均稼働率＝各月の稼働率合計÷3 ※各月の稼働率＝利用実績数÷（定員×月日数）

2. 昨年度 1 年間の入所者状況について、該当する番号に○を付けて下さい。

- ① 空き定員を満たすのに十分な待機者がいる。
- ② 空き定員を満たすだけの待機者は、概ね確保できている。
- ③ 空き定員に対して、待機者の数は不足気味である。
- ④ 空き定員に対して、待機者の数はまったく不足している。

3. 昨年度 1 年間の待機者状況について、該当する番号に○を付けて下さい。

尚、入所希望者の内、「すぐにでも入所したい」又は「6 ヶ月以内には入所したい」方についてお伺いします。

- ① 入所希望者を長い期間待たせている状態である。
（最も長い待機期間: 年 以上）
- ② 入所希望者はそれほど待機せずにほとんどの方が入所できている。
（昨年度入所された方の待機期間: 平均 年 月 月）
- ③ 入所希望者はほとんど待機せずにほぼ全員がすぐに入所できている。

4. 待機者人数(入所申込者数)について、ご記入下さい。

	すぐに 入所したい	6ヶ月以内には 入所したい	将来的には 入所したい
要介護度 3・4・5	人	人	人
要介護度 1・2	人	人	人
待機者人数合計	人	人	人

5. 特例入所(要介護度 1・2 の方)の受け入れ状況について、該当する番号に○を付けて下さい。
また、実績がある場合は受け入れ人数をご記入下さい。

① 特例入所の実績がある。⇒下表に受け入れ人数をご記入下さい。

② 特例入所の実績はない。

【特例入所受け入れ状況】 考慮すべき事項	2020 年度		2021 年度	
	受入人数 計	内 市町等 からの要請	受入人数 計	内 市町等 からの要請
①認知症である者であって、日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られること。	人	人	人	人
②知的障害・精神障害等を伴い、日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られること。	人	人	人	人
③家族等による深刻な虐待が疑われること等により、心身の安全・安心の確保が困難であること。	人	人	人	人
④単身世帯である、同居家族が高齢又は病弱である等により家族等による支援が期待できず、かつ、地域での介護サービスや生活支援の供給が不十分であること。	人	人	人	人
⑤居宅サービス等の利用に関する状況等から、居宅において日常生活を営むことが困難なことについてやむを得ない事由があると認められること。	人	人	人	人

※市町等からの要請欄は、市町の担当課や地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等からの要請により受け入れた人数をご記入下さい。

6. 待機・入所者に関する対応状況や意見・要望について、該当する番号に○を付けて下さい。

(複数回答可)

- ① (意見) 待機者の確保が困難な状況である。
- ② (意見) 介護度に関係なく地域で支援が必要な方を援助する体制が必要である。
- ③ (要望) 要介護認定資料等の開示請求について、各保険者の対応を統一して欲しい。
- ④ (要望) 特例入所に関する入所申込みは、保険者が該当の可否を判断した後に行うようにして欲しい。
- ⑤ (要望) 特例入所は、施設において判断や問い合わせに応じることが困難なため、市町村の役割対応の周知を広く図って欲しい。
- ⑥ (要望) 特例入所について、緊急性に鑑み、該当・非該当について柔軟な判断をして欲しい。
- ⑦ (要望) 市町村等から要請により特例入所を行った場合、日常生活継続支援加算を算定基準対象から除外して欲しい。
- ⑧ (要望) 日常生活継続支援加算の算定基準を踏まえると、『静岡県指定介護老人福祉施設優先入所指針 (別表)入所申込者評価基準』の「1 本人の状況」は要介護状態だけではなく、認知症日常生活自立度や医師の指示に基づいた喀痰吸引や経管栄養を行う必要性の有無を反映して欲しい。
- ⑨ (要望) 『静岡県指定介護老人福祉施設優先入所指針 (別表)入所申込者評価基準』の「2 介護者等の状況」は介護者が要支援状態または高齢者であることの状況はあるが、就学中や就労中の若い世代(ヤングケアラー)であることによる介護の困難さも反映して欲しい。

7. その他、特養待機・入所等に関する意見・要望がありましたらご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。 下記、送付先にご送信願います。

提出期限:2022 年 7 月 29 日(金)

【送付先】

静岡県老人福祉施設協議会 事務局

FAX:054-653-2312

